

大島邸保存要望書

大島邸を残す会

代表 辻 いく子

旧大島邸は、春には大志小学校の建て替えの為に取り壊される事になるとの事でございます。旧大島邸は明治 12 年頃に建てられた珠玉の近代和風建築物で、唐津の百年の足取りを振り返るような木造タイムマシンでございます。

特に茶室は稀に見る遊び心溢れた貴重な建造物で嘗て京都の相国寺の有馬頼邸様が相国寺に引き取りたいと申し出られた程の物で御座います。

書院のあつらえも、檜の一枚板、美しい欄間、節一つ無い選りすぐりの材料、又匠の仕事の美しさ等、全国的に見ましても何処に出しても恥ずかしくない建造物で御座います。豊かな緑の庭は樹齢 100 年を越す樹木や素晴らしいつくばい、五輪塔、手水鉢、灯籠等があり、今の西城内にとっては非常に貴重な城下町の景観でございます。唐津が観光の目玉として、高取邸、唐津銀行を整備したのであれば、大島邸はまさしく、観光の目玉になる貴重な唐津の宝であると思います。本物の価値と誇りを見出し質の高い観光ルートとして整備して頂きたいと思います。尚、大島小太郎は唐津銀行の創始者であり、明治の疲弊した唐津に鉄道を轆き道路を作り、港を整備した唐津の偉人です。どうぞ、城内の景観保存、観光唐津、又、大志小の子供達の情操教育の為に大島邸を壊す事は止めて頂きたく存じます。大島邸の保存運動を昨年より始めましたが、唐津以外の多くの方々も非常に感心を寄せて頂いています、全国的に今は歴史的な良い物を見直し、大事にしようという流れの中で、何ゆえ唐津だけが、このように無謀で見識の無い事をするのかと憤慨なさっていらっしゃいます。又、佐賀市は市民 1 人 1 本の木を植えると言う運動をして 26 万本の木を植えようとしているのに、唐津は美しい樹木の庭を事も無げに更地にしてしまうお考えで、悲しく恥ずかしい限りで御座います。どうぞ、もう一度ご検討頂きたく存じます。

『大島邸 存続』要望署名にご協力をお願いします。

平成22年 月 日

大島邸を残す会

大変悲しいことに、この大島邸は平成22年取り壊され、大志小学校の新校舎が建てられる予定です。唐津の歴史或る貴重な建造物であり、唐津に多大なる貢献をされた大島小太郎様のお屋敷が影も形もなくなってしまうのは非常に残念なことです。

そこで、私どもは大島邸が残るように行政に働きかけていきたいと考えています。

この考えにご賛同いただける方はぜひ署名活動にご協力をお願いいたします。

ご氏名(省略不可)	ご住所(都道府県から「同上」「〃」は不可)
(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	
(10)	

* ご理解とご署名いただきましてありがとうございました。

* 署名活動以外の目的に個人情報が利用されることは一切ございません。

ご署名いただいたこの用紙は下記までお送りいただくかFaxしてください。

送り先: 〒847-0045佐賀県唐津市京町1701-5 吉富 寛 Fax0955-72-2833